

目標達成計画

作成日: 平成 29年 5月 8日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	I-1	法人としての理念・事業所としての理念は、唱和しているが、GHとしての理念の掲示、唱和はできていなかった。	GH理念の策定、掲示、唱和	GH理念の策定、掲示、唱和を行う。	1ヶ月
2	Ⅲ-33	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援、重度化した場合や終末期のあり方について、現在看取りを希望する家族も事例もないが、今後、状況に応じて家族と話し合い、可能な限り対応が求められている。	GHとしての看取りの実施ができるように、家族の要望に添える介護の実施	本人や家族の要望・意向を確認することと、看取りを行ってくれる病院や訪看との交渉を行っていく。	6ヶ月
3	Ⅲ-35	例年は年2回消防立ちあいで防災訓練を実施してきたが、今年は昼想定のみ1回しかできていなかった。夜間想定は未実施である。また、具体的な避難方法についても検討しなければならない。そして、地域の協力も要請しているが、実現していない。	年2回の消防訓練(夜間・災害)の実施 災害時、地域との協力要請	避難訓練の具体的な流れの検証を職員と行い、避難方法の確認、共有し、消防訓練の実施(7月夜間想定・11月災害想定)を行う。また、推進会議で地域との関係を築きながら、地域の協力がいただけるようご依頼をかけていく。	1ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。